

令和5年度
山口大学経済学部
オンライン新生保護者懇談会



所属 山口大学 経済学部
学部長 有村 貞則

YAMAGUCHI UNIVERSITY

1. ご挨拶

- ご入学、誠におめでとうございます。
- 教育理念・目標
社会に貢献しうる実践的経済人の育成
- しっかりとした教育とサポートを行ってまいりますので、保護者の皆様のご協力、よろしくお願い致します。

2. 学生の学園生活等

- 優れた成果・活動等をウェブサイトで紹介
(トピックス)
- 修学状況の把握
- 退学勧告制度へのご理解
- 注意してほしい点

修学状況の把握

■ 大学の授業

- 前期と後期（※共通教育はクォーター制）
- 90分授業を計15回受講
- 期末試験等に合格すれば2単位取得
（※1単位や4単位の科目も一部あり）
- 60点以上が合格、59点以下が不合格

■ 成績評価

「秀」: 100~90点

「優」: 89~80点

「良」: 79~70点

「可」: 69~60点

「不可」: 59点以下

※ 欠席のケースもあり

GPA (Grade Point Average) の
計算方法

$$\begin{aligned} &4 \times \text{「秀」の修得単位数} && + \\ &3 \times \text{「優」の修得単位数} && + \\ &2 \times \text{「良」の取得単位数} && + \\ &1 \times \text{「可」の修得単位数} \end{aligned}$$

履修登録単位数

■ 卒業要件

- 共通教育科目から30単位、専門科目から94単位、合計124単位の修得

(※所属学科・コースにより科目指定あり)

(※所属する学科は1年前期の基盤科目の成績などをもとに10月中旬頃に決定)

- TOEIC400点以上の取得も必要

(※観光政策学科の「観光経済分析コース」および「観光コミュニケーションコース」の場合は、400点以上取得に加えて語学評価認定あり)

語学評価認定: 1~6のいずれか

【認定基準】 ←

1. TOEIC スコア 600 点以上。 ←
2. TOEIC スピーキング・ライティング (SW) テストスコア 240 点以上。 ←
3. TOEIC スコアが 500 点 (SW210 点) 以上であり、かつ学部共通科目 (外国語) に属する「中国語」又は「韓国語」の科目群から 8 単位以上を修得し、経済学部が指定する語学認定試験に合格する。 ←

※経済学部が指定する語学認定試験 ←

中国語…「中国語検定試験」3級 (130 点以上)。 ←

韓国語…「ハングル能力検定試験」3級 (60 点以上)、または「韓国語能力試験」2級 (140 点以上)。 ←

4. TOEIC スコアが 500 点 (SW210 点) 以上であり、かつ「海外プロジェクト演習 I a」及び「海外プロジェクト演習 I b」を修得する。 ←
5. TOEIC スコアが 500 点 (SW210 点) 以上であり、かつ山口大学経済学部又は留学生センターが主催する語学研修を修了する。 ←

※経済学部主催の語学研修とは、教授会もしくは学務委員会の承認を得た海外大学の語学センターが提供する 1 か月間の英語特訓講座を指す。なお、山口大学留学生センター主催の語学研修の場合は、経済学部学務委員会、教授会に諮り承認を審議する。 ←

6. TOEIC スコアが 400 点 (SW180 点) 以上であり、かつ学部共通科目 (外国語) に属する「中国語」又は「韓国語」の科目群から 8 単位以上を修得し、経済学部が指定する語学認定試験に合格する。 ←

※経済学部が指定する語学認定試験 ←

中国語…「中国語検定試験」3級 (160 点以上)。 ←

韓国語…「ハングル能力検定試験」3級 (80 点以上)、または「韓国語能力試験」2級 (160 点以上)。 ←

- どのような単位修得状況が望ましいか？
- 各学期に登録できる単位数の上限：26単位
(※成績優秀者と4年生は上限なし)
- 順調にいけば・・・
 - 1年次終了時に52単位
 - 2年次終了時に104単位
 - 3年前期終了時に130単位



3年後期から就職活動にむけて万全の体制へ

- 保護者様に対して前期の成績表を9月頃、後期の成績表を3月頃に発送

単位修得状況を必ず
チェックしてください！

在学期間	学籍番号 所属学部 所属	2年次から所属する 学科が記載されています。					O P A						
		1年次											
科目名	教員	単位	成績	区分	年度	期間	科目名	教員	単位	成績	区分	年度	期間
【共通教育科目】													
＜教養コア 系列＞													
基礎セミナー		2					必修						
データ科学と社会Ⅰ		1					必修						
データ科学と社会Ⅱ		1					必修						
知的財産入門		1					必修						
運動健康科学		1					必修						
山口と世界		1					必修						
知の広場		1					必修						
＜英語 系列＞													
英語Ⅱa		2					必修						
英語Ⅱb		2					必修						
英語会話Ⅱa		1					必修						
英語会話Ⅱb		1					必修						
＜一般教養（人文教養）系列＞													
哲学		1					必修						
歴史学		1					必修						
社会学		1					必修						
＜一般教養（社会教養）系列＞													
経済と法Ⅰ		1					必修						
経済と法Ⅱ		1					必修						
経済と法Ⅲ		1					必修						
＜一般教養（自然教養）系列＞													
自然科学Ⅰ		1					必修						
自然科学Ⅱ		1					必修						
＜一般教養（学際的教養）系列＞													
人間の発達と育成Ⅰ		1					必修						
人間の発達と育成Ⅱ		1					必修						
文化の継承と創造Ⅰ		1					必修						
文化の継承と創造Ⅱ		1					必修						
社会と医療		1					必修						
環境と人間		1					必修						
食と生命		1					必修						
【専門科目】													
＜基盤科目＞													
ミクロ経済学Ⅰ		4					必修						
マクロ経済学Ⅰ		2					必修						
簿記		2					必修						
法学Ⅰ		2					必修						
法学Ⅱ		2					必修						
＜A 単位＞													
（A 単位 自学系列以外）													
中国語（口語Ⅰ）		2					選択						
＜自由科目＞													
リスニング		2					選択						

「基盤科目」は1年次で修得しておくべき科目です。基盤科目は全5科目あり、前期に3科目、後期に2科目履修することになっています。修得できていない場合は、2年次で再履修することになります。基盤科目の5科目及び3年次で履修する「演習Ⅱ」が、3年次末時点で修得できていない場合は、4年次において「卒業論文演習」を履修することができません。そのため、卒業が延期されることとなりますので、注意が必要です。

4年間で上段の「基準単位」数以上の単位を修得する必要があります。実際に修得できた単位数が、下段の「修得単位」に記載されています。卒業するためには、「必修科目を修得したうえで「基準単位」数を満たしつつ、共通教育を30単位以上、専門科目を94単位以上の合計124単位以上の修得が必要です。なお、個別成績表では表示されませんが、分野によっては修得単位数の上限が設定されているものがあります。また、個別成績表に記載されている単位数は、修得できた単位数全てが表示されているので、卒業するために必要な単位以外も算入されている場合があります。

詳細は、入学時に学生に配布した「履修の手引」、「共通教育履修案内」及び「コース・カリキュラム表」を参照してください。

基準単位・修得単位												
	共通教育科目	教養コア	英語	人文教養	社会教養	自然教養	学際的教養	国際言語	その他(中東)	専門科目	合計	必修
基準単位	30	9	6	3	3	2	7			94	12	6
修得単位												
	A単位	A 自学系列	英語	自由	選択	必修	その他の科目	履修数				
基準単位	40	24	4		12							
修得単位												
基準単位												
修得単位												

「28単位」以下の場合は、4年で卒業できない可能性が高く、特に注意が必要です。
*修得単位欄の()内は、昼・夜間主コース相互履修に。

望ましいケース

1年終了時に30単位

基準単位・修得単位												
	共通教育科目	教養コア	英語	人文教養	社会教養	自然教養	学際的教養	教職基礎	その他(卒業要)	専門科目	基盤	必修
基準単位	30	9	6	3	3	2	7			94	12	6
修得単位												
	5単位	A:自学系列	B単位	自由	演習	教職	その他の科	総合計				
基準単位	40	24	4		12							
修得単位												
基準単位												
修得単位												

「28単位」以下の場合は、4年で卒業できない可能性が高く、特に注意が必要です。

4年になった時点で120単位

2年終了時に70単位相当
3年前期終了時に80単位相当

注意すべきース

基準単位・修得単位												
	共通教育科目	教養コア	英語	人文教養	社会教養	自然教養	学際的教養	教職基礎	その他(卒業要)	専門科目	基盤	必修
基準単位	30	9	6	3	3	2	7			94	12	6
修得単位												
	A単位	A:自学系列	B単位	自由	演習	教職	その他の科目	総合計				
基準単位	40	24	4		12							
修得単位												
基準単位												
修得単位												

*修得単位欄の()内は、昼・夜間主コース相互履修に

「28単位」以下の場合は、4年で卒業できない可能性が高く、特に注意が必要です。

1年終了した時点で28単位以下

2年終了した時点で56単位以下

3年終了した時点で90単位以下(実際には100単位以下でも厳しかも・・・)

退学勧告制度の該当者になった場合

退学勧告制度へのご理解

VII 退学勧告制度について

各期の修得単位数が
10単位未満または2
学期以上連続して学
期GPAが1.0未満
(※3年生以上で総修得
単位数が100以上の者、
休学・留学者は除く)

この制度は、学期ごとに一定基準の学業成績を修められなかった学生に対して面談・指導を行うもので、以下の狙いがあります。

- (1) 退学勧告による学生と保護者（学資負担者）への危機意識の喚起
- (2) 修学，学生生活などへの問題を抱えた学生の早期発見
- (3) 修学意志の低い学生への進路変更の可能性の示唆
- (4) 引きこもり，不登校等の発生予防

なお，面談・指導には保護者も同席してもらうことがあります。

2022年度入学者履修の手引より

■ 第1段階: 指導教員による面談指導。指導前に保護者へ通知



■ 第2段階: 指導教員による面談指導と学科長または副学科長による面談報告書の確認。保護者に対して面談報告書を郵送。要請があれば、保護者を交えての面談指導。



■ 第3段階: 学務委員会による面談。改善がみられない場合は退学勧告文書の送付。要請があれば、保護者を交えての面談指導。

お知らせ

<保護者氏名> 様

山口大学経済学部では、退学勧告制度を導入しています。

この制度は、退学勧告という名称を用いていますが、決して「退学させること」を目的としているわけではありません。修学、学生生活などへの問題を抱えた学生を早期発見するため、半期10単位未満の単位しか修得していない学生または2学期以上連続して学期GPAが1.0未満の学生を対象に個別指導を行い、早期に修学状況を改善させていくことが一番の目的です。また、保護者の方々とも早い時期から情報共有を行うことで、少しでも学生の修学向上に役立てていきたいと考えています。

このような制度の趣旨・目的を十分にご理解していただいた上で、お知らせがあります。

学籍番号 <学籍番号> の <学生氏名>さんは、令和2年度後期に10単位未満の単位しか修得していない（演習分の単位は除きます）または2学期以上連続して学期GPAが1.0未満だったため、退学勧告制度の対象者（第一段階該当者）となっています。

そこでゼミの指導教員を中心に修学状況が悪化した原因の把握と改善のため、近日中に個別指導を行う予定です。今後の学生本人の生活全般や修学に関して、ご留意いただけたらと思います。

令和 年 月

山口大学経済学部

注意してほしい点

- 収容制限なしでの授業再開
- 自転者マナーの順守
- 飲酒問題
- SNS利用時の注意
- ネット詐欺
- その他のトラブル